

(様式1)
令和 6 年 4 月 19 日
(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
B グループ研究B
校園コード (代表者校園の市費コード)
661456

代表者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	校園長名 :	松永かおり
	電 話 :	6981-8800
	事務職員名 :	栗田 有加
申請者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	職名・名前 :	校長 松永かおり
	電 話 :	6981-8800

令和6年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	継続研究 (2年目)
2	研究テーマ	たくましく生きる力をはぐくむ保健教育の追究 －多様化・複雑化した健康課題の解決に向けて主体的に取り組む実践力を高める－			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を項立てて記載してください。</p> <p>1. 昨今の新型感染症や從来から児童を取り巻く様々な健康課題（生活習慣の乱れ・いじめ・不登校・心身の不調・性に関する問題行動・飲酒・喫煙・薬物乱用・アレルギー疾患や感染症等）を的確に把握し、生涯にわたって心身ともに健康に生きるために課題解決に向けたグループ研究を進める。</p> <p>2. 発達段階に即した保健教育のあり方を研究し、研究授業を通した実践検証を進めることを通して、健康課題に対してよりよく解決していく資質・能力を身につけ、生涯を通じて主体的な健康づくりができる子どもの育成を図る。</p> <p>3. 保健教育に関する研修会・講演会・講習会等を開催し、教職員の学校保健に関する資質や指導力の向上を図るとともに、幼・小・中の連携により連続性・継続性を意識した保健教育を進める。</p> <p>4. 大阪市学校保健会・大阪市教育委員会指導部保健体育担当の指導助言のもと、連携を深めながら取り組みを進める。</p>			
4	研究内容	<p>(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>大阪市の児童を取り巻く健康課題は、多様化・複雑化し多くの課題が複合化しており、深刻な状況にある。特に過去3年間は新型コロナウイルス感染症の流行により、学校教育活動全体が変化・改革を強いられ、子どもたちを取り巻く教育環境はこれまでとは大きく変わった。そのような環境下での生活は、健康課題の多様化・複雑化に拍車をかけるものであった。令和4年度スタートした大阪市教育振興基本計画の3つの最重要目標の具体的な取り組み（施策）の中に「健やかな体の育成」が示され、健康教育・食育の推進がうたわれている。そこで、大阪市小学校教育研究会保健部では「たくましく生きる力をはぐくむ保健教育の追究－多様化・複雑化した健康課題の解決に向けて主体的に取り組む実践力を高める－」と研究テーマを設定し、保健教育の実践研究を進める。</p> <p>研究を進めるにあたっては研究グループに分かれ、児童の発達段階に即した保健教育のあり方について研究授業を通した実践検証を行う。それにより、子ども自身が健康課題に対してよりよく解決していく資質・能力を身につけ、生涯を通じて主体的な健康づくりができる力（生きる力）を身につけることができるよう、保健教育を充実させる。</p> <p>今年度は、公開授業や研究発表会の実施を予定しており、保健教育の大阪市スタンダードモデルとなる授業指導案を広く発信し、大阪市の保健教育の充実発展に取り組んでいく。「体育科保健領域」「特別活動における保健に関する指導」「生きる力を育む『性に関する指導』」の3つのグループに分かれ、幼・小・中の連携により連続性・継続性を確認しながら実践活動を進め、児童自身が主体的に健康づくりの担い手となるような保健教育を進める。</p> <p>(2)継続研究 [2年目] ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>過去4年間は新型コロナウイルス感染症の流行により、学校教育活動全体が変化・改革を強いられ、子どもたちを取り巻く教育環境はこれまでとは大きく変わった。そのような環境下での生活は、健康課題の多様化・複雑化に拍車をかけるものであり、大阪市の児童を取り巻く健康課題は、多様化・複雑化し多くの課題が複合化しており、深刻な状況が継続している。</p> <p>令和4年度スタートした大阪市教育振興基本計画の3つの最重要目標の具体的な取り組み（施策）の中に「健やかな体の育成」が示され、健康教育・食育の推進がうたわれている。そこで、昨年度より大阪市小学校教育研究会保健部では「たくましく生きる力をはぐくむ保健教育の追究－多様化・複雑化した健康課題の解決に向けて主体的に取り組む実践力を高める－」と研究テーマを設定し、保健教育の実践研究を進め成果をあげてきた。</p> <p>本年度の研究の推進にあたっても3つの研究グループに分かれ、児童の発達段階に即した保健教育のあり方について研究授業を通した実践検証を行う。それにより、子ども自身が健康課題に対してよりよく解決していく資質・能力を身につけ、生涯を通じて主体的な健康づくりができる力（生きる力）を身につけることができるように、さらに保健教育を充実させる。</p> <p>今年度も公開授業や研究発表会の実施を予定しており、保健教育の大阪市スタンダードモデルとなる授業指導案を広く発信し、大阪市の保健教育の充実発展に取り組んでいく。「体育科保健領域」「特別活動における保健に関する指導」「生きる力を育む『性に関する指導』」の3つのグループに分かれ、幼・小・中の連携により連続性・継続性を確認しながら実践活動を進め、児童自身が主体的に健康づくりの担い手となるような保健教育を進める。</p> <p>(3)継続研究 [3年目]</p>			

		日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
5	活動計画	<p>5月～6月 大阪市小学校教育研究会保健部 役員幹事会及び全体会の開催</p> <p>7月28日 第75回指定都市学校保健協議会（北海道札幌市）にて研修</p> <p>7月～9月 各グループで授業研究会指導案検討会の実施</p> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習指導基本研修会」において取り組みの報告及び若手教員への指導 ・「WYSH教育研修会」における研修 ・「いのち（生命）の安全教育」にかかる研修 <p>9月～11月 授業研究会・研究討議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1グループ「体育科保健領域」における公開研究授業と研究討議会 ・第2グループ「特別活動における保健に関する指導」における公開研究授業と研究討議会 ・第3グループ「生きる力を育む『性に関する指導』」における公開研究授業と研究討議会 <p>11月8～9日 「令和6年度 全国学校保健・安全研究大会」（宮崎県）にて研修</p> <p>令和7年1月 大阪市小学校教育研究会「総合研究発表会」保健部2年次発表会研究冊子作成</p> <p>2月7日 がんばる先生支援研究発表会 大阪市小学校教育研究会「総合研究発表会」保健部2年次発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立今里小学校にて2年次の研究のまとめとして、研究発表会・分科会として発表する。あわせて、公開授業・講演会も実施する。 ・がんばる先生支援報告書作成・提出 <p>3月 大阪市小学校教育研究会保健部 研究のまとめと役員幹事会及び全体会の開催 次年度へむけて、本年度の成果と課題の共通理解</p>
		出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組を記載してください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・第75回指定都市学校保健協議会 北海道札幌市参加 ・全国学校保健・安全研究大会 宮崎県宮崎市大会参加 ・WYSH教育研修会参加 ・研究発表会の指導助言及び講演会 講師 大学教授 年1回実施
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>(1)継続研究（2年目、3年目）において検証方法の変更の有無を記入してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 変更しない。 理由</p> <p><input type="checkbox"/> 変更する。</p> <p>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上」および、「教員の資質や指導力の向上」について見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。（いざれかに☑を入れてください）</p> <p>【見込まれる成果1】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上 保健教育の実践を通して健康・安全についての学びを深めることにより、児童自身が健康づくりの担い手として、健康の保持増進につながる関心・意欲を高めることができる。</p> <p>《検証方法》 授業前後の児童の実態・意識調査や授業の振り返り・アンケート調査等において、児童の「関心・意欲」に関わる項目で、肯定的な回答を授業前より上昇させる。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上 大阪市小学校教育研究会保健部の研究グループ教員の保健教育に関する知識・指導力の向上を図ることができる。</p> <p>《検証方法》 公開授業を年間3回以上実施し、保健教育における大阪市スタンダードモデルとなるような授業展開を広く発信する。公開授業・研究討議会の実施を通して、授業者及び研究グループ・参会者による実践検証を進め、成果と課題点を研究冊子にまとめる。公開授業の参加者のアンケートで、保健教育の知識や指導力の向上につながったと回答する割合を80%以上にする。</p>

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果3】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/>教員の資質や指導力の向上</p> <p>大阪市小学校教育研究会保健部の研究を推進することで、保健教育の実践が大阪市全体に広がり、教員の資質や指導力の向上が見込まれる。その結果、大阪市立小学校児童全体の健康の保持増進に対する意識や実践力を高めることにつながる。</p> <p>『検証方法』</p> <p>大阪市学校保健会（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）、PTA、大阪市教育委員会指導部保健体育担当との定期的な情報交換を実施し、大阪市小学校教育研究会保健部の取り組み等を発信することで、全国的な視野に立った保健教育の推進を図る。</p> <p>【見込まれる成果4】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/>教員の資質や指導力の向上</p> <p>全国の保健教育の動向を把握するとともに、大阪市の取り組みについての情報発信を行い、大阪市の保健教育の向上に寄与することができる。</p> <p>『検証方法』</p> <p>指定都市学校保健協議会や全国学校保健・安全大会およびWYSH教育研修会に複数名で参加し、全国の保健教育の実践に触れ、大阪市の幼・小・中の学校園現場に発信をする。</p>						
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和7年2月21日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="457 893 1362 951"> <tr> <td>日程</td><td>令和 7 年 2 月 7 日</td><td>場所</td><td>大阪市立今里小学校</td></tr> </table> <p>◆waku^{x2}.com-bee掲載による共有【必須】</p> <p>○掲載の日程（予定）</p> <table border="1" data-bbox="457 1019 959 1077"> <tr> <td>日程</td><td>令和 7 年 3 月 31 日</td></tr> </table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 7 年 2 月 7 日	場所	大阪市立今里小学校	日程	令和 7 年 3 月 31 日
日程	令和 7 年 2 月 7 日	場所	大阪市立今里小学校					
日程	令和 7 年 3 月 31 日							
8	代表校園長のコメント	<p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>学校教育において子どもの安心安全な生活を保障する基盤は、児童自身が心身ともに健康であることである。そのためにも、保健教育は児童が生涯にわたって心身ともに健康で生きていくために、最も必要な教育だと考える。昨今の新型コロナウイルス感染症の流行に際しても、感染の拡大防止や感染の予防対策など、健康課題に立ち向かうための保健教育の果たす役割は非常に大きい。令和4年度からの「大阪市教育振興基本計画」の最重要目標の一つの「未来を切り拓く学力・体力の向上」の施策に「健やかな体の育成」が示され、より一層の健康教育の推進が求められている。本研究は、まさしく、児童自身が未来を力強く切り拓き、自身が健康づくりの担い手として生きていくことを目指すものである。</p> <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>子どもたちが安心安全な生活を学校教育において保障するための基盤は、児童自身が心身ともに健康であることである。そのためには「保健教育」が児童が生涯にわたって心身ともに健康で生きていくために、最も必要な教育だと考える。多様化・複雑化している健康課題に立ち向かうための保健教育の果たす役割は非常に大きいと考える。令和4年度からの「大阪市教育振興基本計画」の最重要目標の一つの「未来を切り拓く学力・体力の向上」の施策に「健やかな体の育成」が示され、より一層の健康教育の推進が求められている。本研究は児童自身が未来を力強く切り拓き、自身が健康づくりの担い手として生きていくことを目指すためには必要不可欠な研究である。</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						